

小林麻耶さん「いのちの授業」生徒感想文（一部抜粋）

質問1. 今日の講演を聞いて、感じたことや感想を書いてください。

・命の重みはどんなものより大切な重みだと思った。家族を失う悲しさを知っている人だからこそ、1つ1つの言葉の重みがすごくありがたく感じた。

・とにかく可愛いことと、麻耶さんの考え方が素敵だと思ったことです。今までの自分は嫌な場所においても我慢して過ごすことが社会に出るうえで大切という見方しかできなかったけど、そうじゃないんだと気づくことができ、とても良い経験になりました。

・妹さんの麻央さんを亡くされてからこの何年間、悲しみと苦しさを一人で抱え込みながらも「妹さん」の大切さや、「家族がいること」の大切さを深く学べたこと本当に良かったと思います。自分も小さい頃からずっと背負ってきている持病があって、何度も「死にたい」と思ったことがあるけど、麻耶さんは「生きていると辛いこと苦しいこともあるけど、その分楽しいこともある！人生は楽しいんだ！」という言葉自分を言い聞かせてると言っていたので、嫌なことがあっても楽しくなくても「人生は楽しいもの！」って思ったら自然と楽しくないことも楽しくなるし、嫌な苦しいこともすべて忘れることができるんだと思うと、少し気持ちが楽になりました。

・大切な人と過ごせる時は限りがある、ということ。小林麻耶さんも気づいてからでは遅いとおっしゃっていたので、今、自分のことを大事にしてくれている人を自分のできる限り精一杯大事にしようと思いました。

・小林麻耶さんが妹を乳がんで亡くした話を聞いて、親戚のおばさんが亡くなったことを思い出した。もっと「ありがとう」などの気持ちを伝えればよかったと後悔した。人生、何が起こるかわからないことを改めて感じた。命がとても大切だということを知る貴重な機会だと思った。

・講演を聞き、「自分の人生は自分で決めていいんだ」と心が少し軽くなりました。しんどいこと、辛いことがたくさんある世の中ですが、「逃げてもいい」という言葉に私は救われた気がします。

質問2. 今日の講演で学んだことをこれからの生活でどのように活かしていこうと思えますか？あなたの考えを書いてください。

・何事も悲観的にとらえるのではなく、プラスの方向でとらえ、行動することを今後の自分の生活に活かしたいです。

・高校生なので、みんなそれぞれの悩みや辛いことがあると思いますが、友達が悲観的にとらえていたり、誰かの支えを必要としているなら、自然とその人のそばにいて、少しでも一緒に前向きになるようにできる人間になりたいです。

・やりたい！と思ったことはすぐに行動にうつして、人生を楽しんで悔いが残らないように生きていきたいです。

・自分は弟と仲が悪いです。大嫌いだと思うこともよくあります。でも、弟が突然自分の目の前からいなくなってしまうたらと考えたら、悲しみがこみあげてきて泣きそうになります。それはまだ、弟とやり残したことがあるからっていうのもあると思います。だから、弟とは生きているうちにいっぱいケンカして笑っていこうと思った。

・人それぞれ、苦しい思い、しんどい思いをしてきていると思うので、まずは「人の痛みに気づけるような大人になっていきたい」と思いました。

・私も麻耶さんのように強く、優しい人になれるようにこれから感張りたいです。そして、まっすぐに人のことを応援できる人になりたいです。

・「意味のない批判をして誰かを傷つけるだけの人は、自分の人生に正直に向き合えていないだけだから気にしなくていい」というお話がずっと印象に残っています。麻耶さんのように、自分に正直に、人生っておもしろいなと感じながら生きていけたら素敵だなと思いました。

・「ありがとう」などの感謝の気持ちを母や父などに毎日伝えていこうと思った。